

2020年11月12日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳
 (コード番号 7523)
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司
 (TEL 03-5783-7171)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、この業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,300	1,100	1,100	300	28.51
今回修正予想 (B)	7,500	1,400	1,400	600	56.84
増減額 (B-A)	200	300	300	300	—
増減率 (%)	2.7	27.3	27.3	100.0	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	8,770	1,994	1,798	1,157	99.82

2. 修正の理由

2020年11月12日付「第2四半期累計期間の連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」にて記載いたしましたとおり、当第2四半期連結累計期間におきまして、版画等の発送が計画以上に推移できたこと、新型コロナウイルス感染症に関連する費用を売上原価・販売費及び一般管理費から特別損失に211百万円振り替えたことなどにより、売上高、営業利益、経常利益は、前回発表の予想を上回る結果となりました。また、特別利益に雇用調整助成金の入金、有価証券売却益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表の予想を上回る結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の結果を反映し、また、版画等の発送が順調に推移することを見込み、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見込みであります。

依然として新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であり、連結業績予想を正確に算出することは困難ではありますが、現時点で入手可能な情報や一定の前提等に基づき算出した結果として、本日、公表するものであります。

(新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響及び当該事象による今後の事業等のリスクについて)

当該事象による今後の事業等のリスクにつきましては、緊急事態宣言（休業要請）等により、催事（イベント等）の開催制限や施設の使用制限等が再度発生した場合には、版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業の発生により、売上高が減少する可能性がございます。

今後の状況の変化によって、今期の連結業績予想に関して開示すべき重要な事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上